

訓練:

質問:

訓練のもつ 認知神経的パラメーター	ツール
身体-精神 (集合体としての精神) 作業	
要素-関係	
自発性-組織化	
主観-客観	

例1) 訓練: 第2指を使った既知の3つの表面性状の認識

質問: どの表面性状ですか?

訓練のもつ 認知神経的パラメーター	ツール
身体-精神 (集合体としての精神) 作業	→認識
要素-関係	既知の対象物と身体のある1つの部位との関係
自発性-組織化	指腹への注意
主観-客観	患者の注意は対象物に向けられる

例2) 訓練: 第1指と第2指の下の2つの表面形状を比較

質問: 第2指の下にある表面性状は第1指の下の物と同じですか? 違いますか?

訓練のもつ 認知神経的パラメーター	ツール
身体-精神 (集合体としての精神) 作業	手の2つの部位からくる情報の比較
要素-関係	2つの部位で構築された情報を関連づける
自発性-組織化	2本の指の接触によって作られる関係に注意が向けられている
主観-客観	主観的な経験は相互作用から来る感覚の比較に限定される

例3) 訓練: 複数の情報特性を備えた2つの形状を第1指と第2指の間に挿入して比較

質問: 何が変わりますか? 同じ感覚を覚えますか?

訓練のもつ 認知神経的パラメーター	ツール
身体-精神 (集合体としての精神) 作業	あらかじめ規定されていない情報モダリティを使って得た情報を比較 →選択の可能性
要素-関係	患者は情報モダリティを選択できる
自発性-組織化	・問題解決のニーズが組織化を導く ・患者は形状を解釈するための新たな道を試みる
主観-客観	質問はより主観的な要素を含む